

## 最先端システムとチームワークで、良質な臨床検査技術を提供する

診療支援部 村瀬光春 部長



全国でも数少ない検体検査搬送システム

検査部は病気の診断や治療に必要な科学的データを提供するための臨床検査を集中的に行います。医師が治療をする前の診断や手術前に必要な情報を得るため、又治療中の薬が効いているかなどを調べるために必要不可欠な部門です。臨床検査は患者様を直接検査する生体検査と、患者様の血液や尿などを検査する検体検査に分かれます。検査内容は医師の間診などを元に患者様に対して、どのような検査が必要かという情報が、医師からコンピュータで検査部に依頼され、患者様が受付に来られた時には迅速に対応されます。特に、外来患者様の検体検査は採

血から30分以内で殆どの結果が出ます。中央採血室で採血された検体は、全国でも数少ない検体検査搬送システムに乗せられ、自動生化学分析装置、免疫測定装置などを使って直ちに検査が実施され、結果はコンピュータにて医師に報告されます。

検体検査では肝機能検査、腎機能検査、脂質・糖代謝検査などの生化学検査、又貧血、白血球の増減などの血液一般検査、感染症、自己抗体、血漿蛋白、腫瘍マーカー、妊娠反応、アレルギーなどの免疫血清検査を行っています。自動尿測定装置を導入し、糖、蛋白、尿沈渣などの尿検査、便潜血などの一般検査を実施しています。血液形態検査では、骨髄像検査や自動血球計数装置では分類できない異常細胞を顕微鏡で判定しています。感染症検査では、感染の原因となる細菌や真菌の検出と、抗生物質などの薬剤感受性検査を行っています。遺伝子検査では、ウイルス遺伝子、微生物遺伝子、



## PROFILE

むらせみつはる◎1967年愛媛県立衛生検査技師養成所卒業。1976年愛媛大学附属病院検査部へ。1983年検査部臨床検査技師長、2005年から診療支援部部長を兼任。数種の臨床病理技術士など、免許・資格を数多く取得。趣味は最近できていない旅行で、もう一度行ってみたい国はスイス。

白血病・リンパ腫遺伝子、糖尿病関連遺伝子などの検査を行っています。生体検査の生理機能検査では、心電図や頸動脈波、心臓エコーなどの超音波検査、脳波検査、呼吸機能検査、サーモグラフィ検査などを行っています。検査は365日、24時間、診療時間外でもスタッフが交代で行っています。

検査部には病院のすべての診療科から、毎日600~900人を超える多くの臨床検査の依頼があります。どの患者様にも、安心して検査を受けて頂けるよう、検査部の全スタッフは臨床検査に関する専門の教育を受け、認定試験を取得した臨床検査技師が、正確な検査結果を迅速に報告しています。また、スタッフ一人ひとりがチーム医療の一員として、チームワークを大切に検査業務を遂行することが、私たちの理念であり目標です。検査法や測定機器は年々新しい技術が導入され、著しく進歩しています。私たちは教官、技術職員とも、意欲的に新しい検査法の開発や改良などの研究課題にも積極的に取り組んでいます。



清潔で広々とした中央採血室